

震源物理学演習の進め方

概略

- 「地震学」「震源物理学」の講義内容に関係した基礎的な問題を解くことで地震学の基礎・震源物理学の理解を深めることを目的とする。
- 各自で基礎的な演習問題を解くことで、地震学の基礎および震源物理学を定量的に理解できるようになることを目指す。

演習予定

0回	4/10	ガイダンス
1回	4/17	実体波の反射・屈折 (I)
2回	4/24	実体波の反射・屈折 (II)
	5/1	即位の日
3回	5/8	表面波の伝播
4回	5/15	差分法の基礎・演習
5回	5/22	応力と破壊基準
	5/29	休講（連合大会）
6回	6/5	レポート解説など
7回	6/12	震源メカニズム
8回	6/19	運動学的震源モデル
9回	6/26	地震波散乱（ボルン近似）
	7/3	A 領域合同セミナー
10回	7/10	Cagniard-de Hoop 法
	7/17	休講（IUGG）
11回	7/24	レポート解説など

進め方

- 毎回演習問題を配布する。
- 受講者は翌週までに課題を解き、解法を板書により示す。適宜解法・関連事項などの補足解説などを行う。
- セメスター中にレポートを3回程度課す。

評価

- 演習における回答状況とレポートにより評価する。

参考書

- 地震波動論（斎藤正徳） [東京大学出版会]
- 地震学（長谷川昭、佐藤春夫、西村太志） [共立出版]
- Introduction to Seismology (Shearer) [Cambridge]
- An Introduction to Seismology, Earthquakes, and Earth Structure (Stein & Wysession) [Blackwell]
- Quantitative Seismology (Aki & Richards) [University Science Books]

教員連絡先

江本 賢太郎 (Kentaro EMOTO)

- 居室：合同 C 棟 S414
- e-mail: kentaro.emoto@tohoku.ac.jp
- 電話：内線 6534
- URL : http://www.zisin.gp.tohoku.ac.jp/~emoto/lecture/shingen_enshu.html